



青春 とまどき夏

青春と夏を謳歌する
小説を集めてみました



「オルタネート」

加藤シゲアキ著
913.6/カト 新潮社

高校生限定のマッチングアプリが必須となった現代。3人の若者の運命が、鮮やかに加速していき…。SNS青春の群像劇。



「ペーパー・リライ」

佐原ひかり著
913.6/サハ 河出書房新社

杏は結婚詐欺師の叔父に育てられている高校2年生。夏休み、叔父に騙されたキョエがやってきて…。百合小説じゃない百合小説。



「moja」

吉田桃子著
YA913.6/ヨシ 講談社

毛深いことをコンプレックスに感じている中2の理沙が本当の自分に出会うまでの、ひと夏の青春を描く。コンプレックスと戦うのも青春。



「不機嫌な青春」

壁井ユカコ著
913.6/カベ 集英社

青春の痛みときらめきを永遠に封じ込めた短編集。青春は成長痛もともないます。



「歩のおそはや」

杉元晶子著
C913.6/スギ 集英社

将棋に挫折した少女・歩は、元陸上部エース・涼の将棋同好会に勧誘された。歩は涼の熱意にほだされ、もう一度将棋と向き合う決意をする…。なにかに打ち込むのも青春。



「女生徒」

太宰治著
913.6/ダザ 立東舎

「明日もまた、同じ日が来るのだろう。幸福は一生、来ないのだ。それは、わかっている。けれども、きっと来る、あすは来る、と信じて寝るのがいいのでしょうか」東京のある少女の独白。青春は感情でいっぱい、それを言語化するとこんな文章になるのでしょうか？



戦争と平和を考える



今年で太平洋戦争が終わってから80年を迎えます。
しかし今でも戦争が続いている地もあり、遠い世界の話ではありません。
改めて戦争について知り、平和について考えてみませんか。

戦争を知る

戦争を描いた漫画は
他にも所蔵しています



「漫画から学ぶ生きる力 戦争編」

宮川総一郎監修
YA726.1/ミヤ ほるぷ出版

様々な戦争の中での主人公たちの生き方を通じ、命や平和の大切さを伝える漫画を紹介しています。
大垣市立図書館では、この本で紹介されている「総員玉砕せよ!」、「あとかたの街」など、一部の漫画を所蔵しています。

「14歳のヒロシマ」

梶本淑子著
YA319.8/カジ 河出書房新社

いま戦争をしている人たちは「何もわかっていない」。平和な世界のために何ができるのか。
14歳の時に被爆し、70歳で証言者になった著者が伝えたい、戦争と平和のはなし。

「花や咲く咲く」

あさのあつこ著
913.6/アサ 実業之日本社

おしゃれをすることも、笑いあうことも、将来を夢見ることも我慢を強いられた時代を生きた4人の少女たち。彼女らの友情と運命を描く。

平和を考える



「池上彰の君と考える 戦争のない未来」

池上彰著
YA319.8/イケ 理論社

戦争とは何か。世界はどんな戦争を経験したのか。池上彰が戦争の変遷、戦争の歴史などを丹念に解説し、戦争をなくすためにはどうしたらいいのかを考える助けとなる本。



「僕らは戦争を知らない」

小泉悠監修
319.8/コイ Gakken

80年前の戦争から、最近のロシアによるウクライナ侵攻を例にとり、「なぜ戦争が起こるのか」などの疑問について解説しています。争いのない世界のためにできることを考えてみましょう。



「晴れ、そしてミサイル」

渡部陽一著
319.8/ワタ
ディスカヴァー・トゥエンティワン

戦場カメラマン・渡部陽一が戦場を取材した写真や動画とともに、実際の戦争の姿や戦争が起きる理由、平和とはなにか、私たちができることはなんなのかを考えてみませんか？

2025年 課題図書

中学・高校の課題図書については
貸出冊数の制限なし、期間は2週間です
2階YAコーナーで展示しています

また、YAコーナーでは読書感想文の本の
選び方に関する展示もしています♪



「鳥居きみ子 家族とフィールド
ワークを進めた人類学者」
竹内紘子著
289.1/トリ くもん出版

夫・龍蔵や家族と共に探検のような
フィールドワークを進めた鳥居きみ
子。昔から伝わる生活・風習・伝説
等を調べる民族学を切り開いた彼
女の生涯を描く。



「わたしは食べるのが下手」
天川栄人著
YA913.6/テン 小峰書店

会食恐怖症の葵と、食に関わるある
悩みを持つ咲子。そんな二人が、
栄養教諭にたきつけられて給食改
革に乗り出すことに…。



「スラムに水は流れない」
ヴァルシャ・バジャージ著
933.7/バジ あすなる書房

インドの大都会ムンバイの人口の
40%が住んでいるスラムに暮らす
兄妹を通し、家族の絆、友情、イ
ンドの「今」を描く。



「「コーダ」のぼくが見る世界」
五十嵐大著
369.276/イガ 紀伊國屋書店

聴こえない親を持つ聴こえる子ども
＝コーダ(CODA)が、ろう者とも聴者
とも違う複雑なアイデンティティにつ
いて語る。



「銀河の図書室」
名取佐和子著
913.6/ナト 実業之日本社

宮沢賢治を研究する弱小同好会
「イーハトー部」の部長だった先輩が
突然消えた。高校生たちは、賢治
が残した言葉などを紐解きながら、
先輩の謎を追う…。



「夜の日記」
ヴィーラ・ヒラナンダニ著
933.7/ヒラ 作品社

独立とともに、ふたつに分かれてし
まった祖国。ちがう宗教を信じる者
たちが互いを憎みあい、傷つけあ
う。少女は亡き母にあてて、揺れる
心を日記につづる…。



新刊案内

2025.4～6月分



「13歳からの進路相談 仕事・キャリア攻略編」

松下雅征著
YA159.7/マツ すばる舎

これからの時代に求められる「キャリアの習慣」の大切さと全体像について解説するとともに、24のエピソードを紹介。「後悔しない人生に必要なキャリアのABC」がわかります。



「正しく疑う 新時代のメディアリテラシー」

池上彰監修
YA361.4/イケ Gakken

情報を発信する側と受け取る側がそれぞれ気を付けなければならないことを、マンガやイラストでわかりやすく紹介しています。



「学校に行かなかった僕が、あのころの自分に今なら言えること」

石井しろう著
YA371.42/イシ 大和書房

自身も不登校を経験し、不登校者のホンネを知る著者が、学校・家族・進路などのことで悩んでいる人へのメッセージを綴っています。



「おとなサイエンス」

あきとんとん著
YA404/アキ/STUDY かんき出版

自分で身体をちぎって増える生物がいるってホント？ 地球の自転が止まったら人はどうなる？…など、理科にまつわる身の回りの疑問について対話形式で解説しています。



「13歳からのジャーナリング」

藤本志乃監修
YA498.3/フジ メイツユニバーサルコンテンツ

「書き出し」による頭と心の整理術であるジャーナリング。自分の心に向き合い、自分への理解が深めるための方法を解説しています。



「アリゲーターガーは月を見る」

山本悦子著
YA913.6/ヤマ 理論社

ある晩、見覚えのある横顔を見かけ、何の気なしについて行った朔哉は、小学校の同級生だった航に再会する。航はお堀に住む巨大な外来魚アリゲーターガーに会いに来ていた…。